

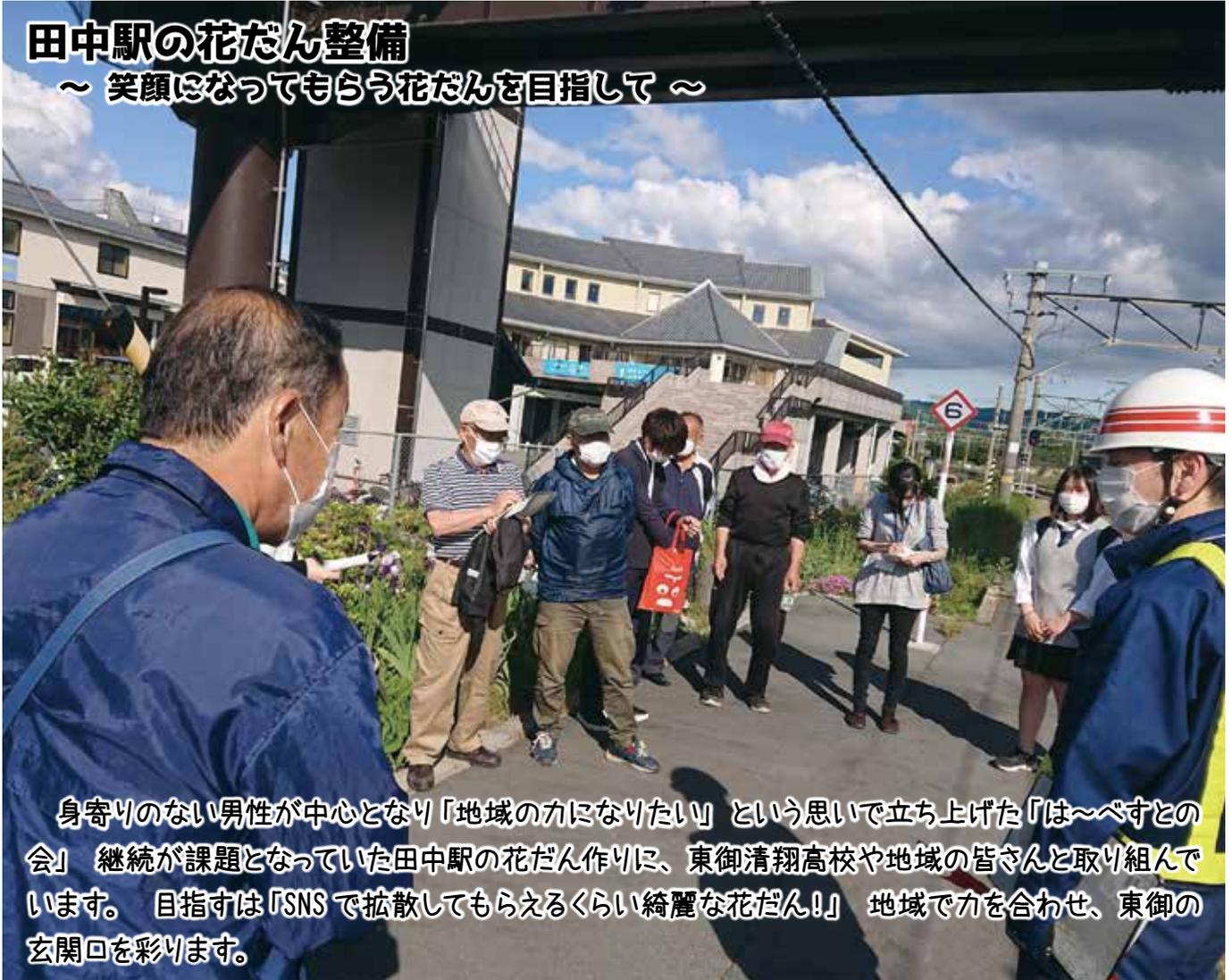
ほほえみ

発行：社会福祉法人
東御市社会福祉協議会
〒389-0502 東御市鞍掛197
☎0268-62-4455 (代表)
http://www.tomisyakyo.or.jp
印刷：グリーン美術出版

～人とひとが福祉でつながるまちづくり～

田中駅の花だん整備

～笑顔になってもらう花だんを目指して～



身寄りのない男性が中心となり「地域のかになりたい」という思いで立ち上げた「は～べすとのかい」継続が課題となっていた田中駅の花だん作りに、東御清翔高校や地域の皆さんと取り組んでいます。目指すは「SNSで拡散してもらえくらい綺麗な花だん！」地域で力を合わせ、東御の玄関口を彩ります。

🔑 内容 🌸

- ★社協の理事・監事、評議員の紹介
- ★生活支援コーディネーターの紹介
- ★月間スナップ

🔑 特集 🌸

- ★「社協会員」のご案内、社協ってなーに？



社協の Facebook
フォローお願いします♪

🔍 検索 東御市社協 Facebook



理事会・評議員会

6月8日に第88回理事会、22日に第56回評議員会が中央公民館で開催されました。令和3年度の事業報告及び決算報告がされ、承認されました。

理事・監事の皆さん (敬称略)

	氏名	区名
会長	横山 好範	東上田
副会長	原田 京子	本海野
常務理事・事務局長	山口 正彦	新張
理事	長越 修一	田中
〃	井出 進一	田之尻
〃	饗場 薫	東町
〃	白石 幸男	東上田
〃	小林 秀行	畔田
〃	翠川 昌博	中八重原
〃	関 茂	大石
〃	堀川 竹子	西海野
監事	後藤 菊夫	東町
〃	佐藤 千枝	大石

※なお任期は令和5年6月までです

評議員の皆さん (敬称略)

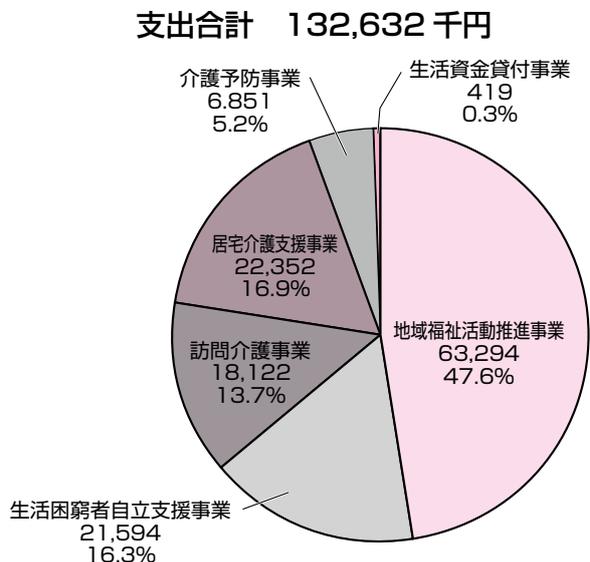
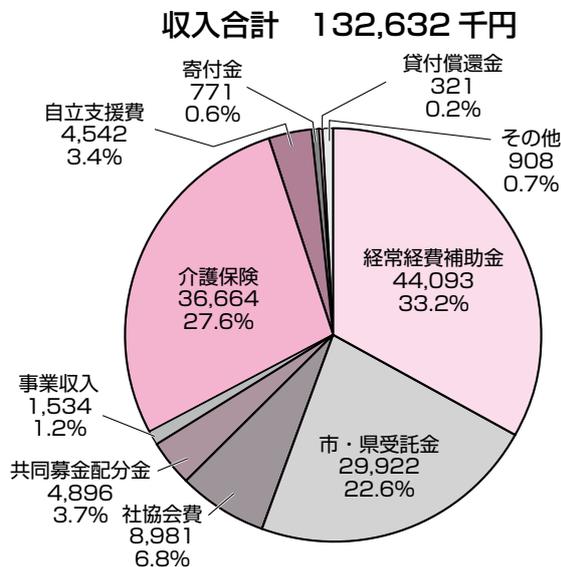
選出分野	氏名	区名
市議会の代表	窪田 俊介	芸術むら
地域の代表	渡辺 明一	常田
〃	小川原 亮	別府
〃	竹内 宣嘉	栗林
民生児童委員協議会の代表	依田 政一	県
〃	寺島 一利	桜井
〃	中村 武人	新屋
〃	荻原 輝久	大日向
社会福祉事業の関係者	荻原 太郎	上八重原
〃	唐澤 光章	中屋敷
〃	白倉 光子	下八重原
〃	阿部 貴代枝	別府
〃	竹内まき子	白鳥台
〃	茅野 隆徳	上田市
〃	関 清英	中八重原
〃	小林 和利	城ノ前
〃	宮崎 晴美	本海野
〃	小林 貴文	金井
教育関係者	原澤 利明	海善寺
〃	中野 裕顕	上田市
行政関係者	小林 裕次	新屋

※なお任期は令和7年6月までです

令和3年度 社協事業・収支決算報告 (概要)

6月8日の理事会、22日の評議員会で、令和3年度社会福祉協議会の事業報告と収支決算が審議され、原案どおり承認されました。

収入と支出の状況 (単位：千円)



あなたも地域の福祉活動を支えるサポーター！



『社協会員』にご加入をお願いします

会員の皆様からご協力いただいた会費が地域の福祉活動を支えています。会員の種類と金額は右の通りです。ご協力をお願いいたします。



会員の種類と金額		
普通会員 (個人・世帯)	賛助会員 (個人・世帯)	法人会員 (企業・団体・施設等)
1口 1,000円	1口 2,000円	1口 5,000円



福祉のまちづくりのために



ボランティア育成と支援



福祉体験学習



福祉車両貸し出し事業



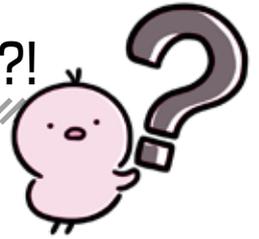
広報啓発活動

社協ってなーに？

社協は、地域で暮らす誰もが、高齢・障がい・男女などに関係なく支えあうことで、安心して生活できる「地域共生社会」を目指して活動しています。

社協は、住民の皆さんに「会員」としてご参加いただき、福祉を“自分ごと”として捉えられる地域づくりを行っています。また生活困窮支援や在宅介護支援などの「孤立を生まない地域づくり」や、「災害に強いまちづくり」など、幅広い活動により「福祉のまちづくり」を進めています。

社協 にいる『生活支援コーディネーター』とは…?!



社会福祉協議会では、今年度から『生活支援コーディネーター』を配置し、地域の皆さんとの連携の充実を図っています。



ところで…

なんだそれ?! という皆さん。

少し、自己紹介させてください。

コーディネーターの仕事

① シニア世代の皆さんがいきいき暮らせるように、地域の「寄り合いの場」を応援します！



② 生活のお困りごとを解決できる仕組みを、関係者と協力して提供します。



③ 誰もが“支えあい”に参加できる地域を目指し、担い手の育成を図ります！

④ 地域の皆さんに福祉の情報をお届けします。“必要な人に届く”情報発信を目指します！



田中駅「花だんの継続」プロジェクト進行中★



しなの鉄道の田中駅では、これまで長年に渡り地域のボランティアによって、駅構内の花だんがきれいに整備されてきました。しかし、高齢化などの課題から、今年度の花だんの管理が課題となっていました。そ

こで、まいさぼ東御の身寄りのない相談者などから成る「はーべすとのかい」のメンバーが、地域協力者や東御清翔高校、市役所などと協力をしながら、花だんの継続プロジェクトが進んでいます。

花だんは、駅の改札を入れて左側。皆さんも見守っていただけたらと思います♪



▲東御清翔高校の生徒も作業しました



▲始めに参加者全員でミーティング

まいさぼ便り

「まいさぼ東御」は、生活や就労に困難を抱えている人の総合相談窓口です

食料支援事業 ～フードサポート とらみの縁～



東御市社協では食料の寄付を受け付けています！

家庭で眠っている食品、災害用の備蓄品、贈り物等で活用されない食品を社協に寄付しませんか？



寄付できるもの

- 賞味期限が1か月以上あるもの
- 常温保存可能なもの
- 未開封品



寄付できないもの

- ×生のもの
- ×賞味期限、消費期限が切れているもの
- ×開封してあるもの など

●寄付受付場所

- ・東御市社協
- ・フードポスト(市内6郵便局)

※ 7/16 の東御市社会福祉大会当日の会場（中央公民館）で食料寄付を受け付けています！ご参加お待ちしております。

東御市社協では食料支援のほかに、生活に困っている方の相談も行っています。食料支援のご相談、生活や就労でお困りの方はまいさぼ東御へご連絡ください。

生活就労支援センター まいさぼ東御

受付日時 月～金曜日 午前8時30分～午後5時
 場 所 東御市鞍掛 197 東御市総合福祉センター内 東御市社会福祉協議会
 電 話 0268-75-0222(直通) メール maisapo@tomisyakyo.or.jp

赤い羽根通信

赤い羽根への「ありがとう」が届いています。

毎年10月、地域の皆さんにお世話になっている赤い羽根募金。協力いただいた募金は、地域で支援を必要とする人に、届いています。



次世代を担う子ども達から、福祉体験の「ありがとう」

赤い羽根共同募金の配分金は、次世代を担う子ども達に向けて行われる、地域の学校等が行う福祉体験学習などにも活用されています。

普段の子ども達にとっては決して身近とは言えない“福祉”。少しでも身近に感じてもらいたいと思い、助成を行っています。毎年、学習を行った子ども達からは、「はじめて福祉にふれられたこと」へのありがとうの声が届いています。



赤い羽根のよくあるご質問

Q. どうして金額が決まっているの？

A. 赤い羽根募金は、協力や金額を強制するものではありませんが、**地域で必要な活動を話し合い、その実施に向けた募金を行う「計画募金」のため、目安額が存在します。**

また、一定の目安額がある方が募金しやすいとの声もいただいております、あくまでも任意の目安として捉えていただければ幸いです。



東御市福祉団体交流会

6月6日、第二体育館で福祉団体交流会が開催されました。この交流会は、福祉団体会員の連携及び交流を深めることを目的に行われるもので、7団体から約70人が参加しました。内容は、誰もが参加できる交流会を目指し、ユニバーサルスポーツ「ボッチャ」が行われています。普段は福祉に関する話題が中心の福祉団体会員も、この日はボッチャに集中していました。



月間スナップ

布団の丸洗いサービス



6月8日から計4日間、社協の布団の丸洗いサービス事業を実施し、61人の利用者から計120枚の布団を預かり、クリーニングを実施しました。この事業は身体に障がいがある等の理由から、布団干しなど、寝具の衛生管理が難しい方を対象に毎年、実施しているものです。利用した人からは「自分では干すこともクリーニングに持っていくこともできないので、有り難いです」との声が聞かれました。

社協で実施するサロン、お気軽にご参加ください♪

ふれあい交流サロン おいでよサンサン



～ 毎月第4水曜日に開催中！～

お茶を飲んだり、会話を楽しんだり。みんなで近場に出かけたり…等。誰でも気軽に参加できるサロンです。ご希望の方には送迎もします♪ ぜひ、お気軽にお問い合わせください。



介護者サロン 太陽の会

～年間3回、定期的で開催中！～

現在、在宅で家族を介護されている方や、以前介護されていた方を対象としたサロンです。これまでの経験が、他の介護者の悩み解決につながるかもしれません。現在お悩み事がある介護者の方は、ぜひ、一人で抱え込まずに、サロンで相談してみましよう。



具体的な内容や開催日は、お問い合わせください。

ボランティアセンターから版

～改めて考えてみよう!“ボランティア”～

社協の「ボランティアセンター」では、新たにボランティアを始めたい人へのサポートや現在、活動中の人などへのサポートを行っています！

“ボランティア”ってどんなものがあるの？

“ボランティア”と一口に言っても、様々な活動があります。今回は一例を紹介したいと思います。ちょっとした時間にできるボランティアから力仕事のボランティア、技術が必要なボランティアなど様々な活動があります。



例1) 絵本の読み聞かせをするボランティア

保育園や福祉施設などで活動



例2) 生活支援ボランティア

電球の交換や
ゴミ出しなど
のお手伝い



例3) 清掃のボランティア

駅の花壇整備や歩道
のゴミ拾いなど



例4) 収集のボランティア

切手やテレホンカードなどを
集め、回収している団体に
送っている



“ボランティアの4原則”ってなあに？



“ボランティアの4原則”とは、ボランティアの基本的な考え方を4つにまとめたものです。

♥ 自主性

ボランティア活動は、誰かからの強制や義務としてではなく、自分からすすんで行うものです。誰かに“やらされる”ものではなく、自分から“やる”もの!!

♣ 社会性

誰もが生き生きとした豊かな暮らしが送れるように、お互いが支え合い学び合う活動です。一人ひとりを尊重しながら、生活や社会を一緒に考えていきましょう!!

◆ 無償性

“お金”や“モノ”などの報酬を求めて行う活動ではありません。ボランティア活動の原動力は、新たな出会いや充実感などです!

♠ 先駆性

今、何が必要とされているのかを考えながら活動します。今までの考え方にとらわれることなく、より暮らしやすい社会を作っていきましょう!!

善意をありがとうございます



(4月、5月受け付け分)

- 匿名様.....紙おむつ・パット
- 匿名様.....金500円
- 土屋政幸様.....ポータブルトイレ
- 匿名様.....金 100,000円
- 匿名様.....金 10,000円
- 匿名様.....紙おむつ 2袋
- 匿名様.....タオル10枚
- 匿名様.....紙おむつ

ウエスをありがとうございます

(4月、5月受け付け分)

花つなの会様 高木竹子様

「フードサポートとうみの縁」(食料支援事業)へ 寄付ありがとうございます (4月、5月受け付け分)

- 丸山和躬様 小林友梨夏様
- 株式会社馬場音一様 女性団体連絡協議会様
- コトヒラ工業株式会社様 ほか11人様

社協の3ヶ月サービスよりみなさまへ あったかいごだより

No.53

健康長寿が進み、「人生100年時代」と言われています。毎日の歯磨き習慣は、お口の健康を守るだけではなく、全身の健康を守る事にも繋がっています。



歯磨きが、「健康」の一つとして毎日の生活習慣に取り入れられる事が大切です。

「8020推進運動」が始まったころ、80歳で20本以上の歯のある人は、10%にも満たない状態でした。現在は半分を超える51.2%となりました。

外出時、歯磨きができない時、うがいや口内を水ですすいだり、マウスウォッシュやガム(キシリトール配合)等も上手に使って虫歯予防をしましょう。

自分の歯を残す事は、食事を楽しめるにとどまらず、全身の健康を守る事にもつながります。年に1度の健康診断を受けるのと同じように歯の健康診断をしてみませんか。

ふくし川柳

(敬称略・順不同)

○梅雨明かり 明日はきつと 会いたいね (真田丸)

○雨上がり セミに呼ばれて 散歩かな (匿名)

(投句先) 社会福祉協議会 地域福祉係

〒389-0502 東御市鞍掛197

☎ 62-4455 FAX 64-5605

✉ info@tomisyakyo.or.jp

〔方法〕 ハガキ・FAX・メールのいずれかにて。

内容は「掲載名(ペンネーム可)・連絡先・包」

〔その他〕 複数投句の場合は、選択の上、掲載します。

記事の状況により、全ての投句を掲載できない場合があります。



社協の結婚相談とうみ結婚応援Project

社会福祉協議会では、未婚男女の皆さんの出会いを応援するため、結婚相談所を開設しています！まずはお気軽にご相談ください♪

相談日：毎週日曜日 午前9時～正午

場所：東御市中央公民館 学習室1

対象者：結婚を希望する男女

内容：結婚に関する相談の受付(登録)

登録者同士の出会いの場の設定ほか



社協の結婚相談員が皆さんの相談に応じます！

お問い合わせ 東御市社会福祉協議会(地域福祉係)

☎ : 0268-62-4455 Mail : info@tomisyakyo.or.jp

●編集後記

皆さんは夏祭りや花火、好きですか。コロナ禍で中止が続いてきた夏の風物詩も、今シーズン開催の便りを耳にすると、心が躍ります。それと同時に、コロナ禍での開催に尽力する皆さんへの感謝も忘れてはいけなさと改めて感じます。私たちも、自分ができる対策をとりつつ、夏を思いっきり楽しみたいですね。(小野紘彰)



まちかどスナップ
湯の丸高原から